

## メディカルテクノおかやま研究委託事業実績（平成 19～20 年度）

### 1 概要

メディカルテクノおかやまでは、ナノバイオテクノロジーを活用した標的医療等の新たな医療の創造とその基盤技術研究を進めることを目的として、新たな技術の創造や将来の産業化につながる研究テーマを公募、審査採択し、特別電源所在県科学技術振興事業により、平成 19 年度から 20 年度の間に 17 件の研究委託を実施しました。

### 2 実施方法

#### (1) 研究テーマの要件

提案する研究テーマは、次の条件のうち、少なくとも一つは満たすものであること。

- ・新規性・技術的優位性を有する基盤研究であること。
- ・研究成果が県内企業等で実用化され、県内産業の振興につながる研究であること。
- ・研究終了時に、試作品等のプロトタイプを提示できること。

#### (2) 応募の資格

県内の大学又は工業高等専門学校に所属する研究者

#### (3) 委託金額

- ・平成 19 年度 単独研究×8 件×約 300 万円
- ・平成 20 年度 単独研究×8 件×約 275 万円 グループ研究 1 件×約 500 万円

#### 平成 19 年度の採択テーマ

研究テーマ	代表研究者	所属
抗腫瘍蛋白 REIC/Dkk-3 の蛋白産生および評価系の確立	那須 保友	岡山大学
ナノバイオテクノロジーを用いた肝不全治療用埋め込み型バイオ人工肝臓開発の基礎研究	小林 直哉	岡山大学
画期的な動脈硬化の画像診断法の確立	松浦 栄次	岡山大学
ナノ構造体内部への高密度タンパク質封入に向けたタンパク質可溶化試薬の開発	二見 淳一郎	岡山大学
薬剤・トランスポーター相互作用測定キットの開発	森山 芳則	岡山大学
レチノイド X 受容体 (RXR) を分子標的としたがん治療候補物質の創出	加来田 博貴	岡山大学
内皮細胞をターゲットにした ADAMTS1 によるがん休眠治療の基盤研究	廣畑 聡	岡山大学
癌細胞認識蛋白質の近赤外蛍光標識と、それを用いた生体内分子イメージング	瀧 真清	岡山大学

平成 20 年度の採択テーマ

研究テーマ	代表研究者	所属
関節軟骨変性疾患の分子標的治療システムの開発	大橋 俊孝	岡山大学
高齢者や要介護者を対象とした口腔ケア剤の開発	長岡 紀幸	岡山大学
癌抑制遺伝子の機能領域の特定に基づいた新規癌治療法の開発	荒尾 雄二郎	岡山大学
ゲノム転写活性部位を標的とした遺伝子導入技術の基盤研究	筒井 公子	岡山大学
機能的な組織再生のための自己組織化ペプチドゲルの開発	成瀬 恵治	岡山大学
21 世紀医療を拓く網羅的な画像診断法の確立	松浦 栄次 (グループ研究)	岡山大学
培養細胞を用いた新規 in vitro ヒト型抗体作製系の開発と抗体医薬創製への応用	金山 直樹	岡山大学
超精密ペプチドスクリーニング技術を用いたペプチド創薬および医学研究への応用	今中 洋行	岡山大学
レチノイド X 受容体 (RXR) を分子標的とした新規医薬候補物質の創出	加来田 博貴	岡山大学